東広島市教育委員会定例会（令和5年7月）議事録

1 日 時 令和5年7月27日（木）午後2時4分～午後2時35分

2 出席者

（1）教育長 市場教育長

（2）委員 渡部教育長職務代理者、京極委員、島本委員、西村委員、棚橋委員

（3）事務局 【学校教育部】

江口学校教育部長、神笠教育監、武上学校教育部次長兼教育総務課長、井上施設安全調整監、吉岡学事課長、鷹橋指導課長、沖指導課情報教育推進室長、石田教育総務課課長補佐兼教育総務係長兼管理係長

【生涯学習部】

伊藤生涯学習部長、細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長、久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長、尾谷スポーツ振興課課長補佐兼生涯スポーツ係長、大内文化課長、戸光青少年育成課長、尾畑生涯学習課課長補佐兼地域の学びの企画係長兼管理係長

（4）書記 奥田主査

3 場 所 北館3階 303会議室

4 議 題

（1）議案事項

議案第16号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について（別紙）

議案第17号 東広島市重要文化財の指定について

議案第18号 東広島市史跡の指定について

（2）報告事項

報告第43号 スポーツ活動による連携協定の締結について

報告第44号 スポーツ施設の聖地化に伴う体力測定機器の活用について

（3）その他

ア 東広島学校給食センター施設開放イベント

イ インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023

ウ 次回教育委員会定例会の日程について

開会 午後2時4分

○ 市場教育長：それでは、定足数に達していますので、令和5年7月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事録署名委員は、京極委員と島本委員でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議は全て公開で行いたいと思います。

委員の皆様の意見を伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

それでは、全て公開することに決定します。

本日の傍聴希望はありますか。

- 武上学校教育部次長兼教育総務課長：7名の傍聴希望がございます。
- 市場教育長：本日は、会場の都合上、別室に会場を設け、傍聴人にはモニターで視聴していただくこととしております。
暫時休憩いたします。
(休憩)
- 市場教育長：再開します。

本日の会議の進行でございますが、議案第16号につきましては、関係職員のみが説明員となるため、全ての議案、報告、その他の報告に続いて、最後に提案させていただきます。よろしくお願いいたします。

議案第17号 東広島市重要文化財の指定について

- 市場教育長：それでは、議案事項からですが、議案第17号東広島市重要文化財の指定について、議案の説明をお願いいたします。
- 大内文化課長：それでは、文化課から、議案第17号東広島市重要文化財の指定についてご説明いたします。

資料の1ページをお願いいたします。

1の提案理由ですが、東広島市文化財保護審議会から、文化財に指定することが妥当と答申を受けた物件を東広島市重要文化財に指定するため、この議案を提出するものでございます。

次に、2の指定する文化財ですが、種類は東広島市重要文化財、名称は福成寺仁王門とその附属として上ぶき棟札1枚、記念銘板1枚でございます。

所在の場所は、西条町下三永字福成寺10713番の3、所有者は宗教法人福成寺でございます。

資料の6ページをお願いいたします。

指定しようとする物件の写真でございます。この物件は、入母屋造りで現在は銅板ぶきとなっておりますが、もともとは茅葺の屋根でした。

資料の8ページをお願いいたします。

左の写真の記念銘のある木札などから、この建物は宝暦2年の建築と考えられ、39年後の寛政3年、西暦で申しますと1791年になりますが、屋根の全面ぶき替えが行われたことが中央と右の写真の上ぶき棟札から知ることができます。

少し戻りますが、資料の3ページをお願いいたします。

指定調書の下の方に、括弧で所見とありますが、下から4行目のさらにその後、東広島市内の江戸時代の遺構の中でも保存状態がよい点が特徴であるとの報告を受けており、建築当初の土台をよく残しており、市内にある人為遺構の中でも貴重な建築として評価されておりますので、仁王門とそれに付随する棟札等を市の重要文

化財に指定することを提案するものでございます。

資料23ページをお願いいたします。

参考といたしまして、東広島市内の国、県、市指定文化財の一覧を掲載しております。現在は108件が指定されておりますが、今回の議案が議決いただけましたら、24ページの94番に市の重要文化財として福成寺仁王門が入ることとなります。同様の仁王門としては、71番の国分寺の仁王門がでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 市場教育長：ありがとうございます。

ただいまの議案第17号東広島市重要文化財の指定について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第18号 東広島市史跡の指定について

- 市場教育長：次に、議案第18号東広島市史跡の指定について、議案の説明をお願いいたします。

- 大内文化課長：それでは、議案第18号東広島市史跡の指定についてご説明いたします。

資料の11ページをお願いいたします。

1の提案理由でございますが、東広島市文化財保護審議会から、文化財に指定することが妥当と答申を受けた物件を東広島市史跡に指定するため、この議案を提出するものでございます。

次に、2の指定する文化財でございますが、種類は東広島市史跡、名称は二馬手塩田跡樋の輪でございます。

所在は、安芸津町木谷字西二馬手5686番地先道路でございます。所有者は東広島市でございます。

資料の18ページ、19ページをご覧ください。

物件に関する写真でございます。安芸津町には、江戸時代から近代にかけて8か所の塩田があったことが分かっておりますが、多くの塩田跡は埋め立てられ、遺構が残っているものはほとんどございません。そうした中で、江戸時代後期から昭和初期まで経営された二馬手塩田跡では、樋の輪と呼ばれる海水を取水、排水する樋の口を海の波から守るための石垣が機能を保ったまま、ほぼ当時の形のままで残っております。昭和30年代には、県内に70か所ほど残っておりましたこの樋の輪も現在このような形で残っているものは県内に15か所ほどとなりました。その大半は、尾道市にありますが、コンクリート等で補強され、シンボリックに残されているものが多く、この二馬手塩田跡のように石垣のままで機能を保ったものは県内で唯一のものであり、大変貴重な物件でございます。

少し戻りますが、資料の16ページをお願いいたします。

指定調書の所見を掲載させていただいておりますが、資料の中ほどに塩田について、江戸時代の元禄期、大体1688年から1704年の開発から昭和5年の廃止までの沿革を知ることができる文献資料も残っているため、概略を知ることができると思います。本市の産業の一つであった塩田の歴史を後世に語り継ぐためにも、その貴重な遺構である二馬手塩田跡樋の輪を市の史跡として指定することを提案するものでございます。

23ページをお願いいたします。

先ほどご説明いたしました文化財の一覧ですが、ここで1点、資料の訂正をさせていただきます。

47番において、市史跡として「二馬手塩田樋の輪」とございますが、正しくは「二馬手塩田跡樋の輪」でございます。

今回の議決をいただけましたら、この47番に市の史跡として二馬手塩田跡樋の輪が入ることになります。

説明は以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

- 市場教育長：ありがとうございます。

ただいまの議案第18号東広島市史跡の指定について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

- 島本委員：こういうのが残るのはいいことだと思いますが、残す時に、囲いとかするのですか。それとも、このままですか。
- 大内文化課長：囲いとかはせずに、このままの形で残します。
- 島本委員：そのまま自然で残すということですね、分かりました。
- 市場教育長：そのほかにはございませんか。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

それでは、報告事項に移ります。

報告第43号 スポーツ活動による連携協定の締結について

- 市場教育長：報告第43号スポーツ活動による連携協定の締結について、説明をお願いいたします。
- 尾谷スポーツ振興課課長補佐兼生涯スポーツ係長：報告第43号スポーツ活動による連携協定の締結について、ご報告いたします。

資料の1ページをご覧ください。

1の趣旨についてでございますが、本市ではスポーツ推進計画に基づき、いつでもどこでも誰でも地域でスポーツの実現に取り組んでおります。また、このたび策定いたしました学びのキャンパス推進事業行動計画におきましては、トップアスリート等によるスポーツの魅力づくりと健康づくりを中心とした地域単位のスポーツの普及促進に取り組むこととしており、これらの実現に向け、地域に密着したスポ

ーツ活動を実施しておられる地元企業等と連携協定を締結し、本市のスポーツ振興について共同活動を行うことを計画しております。

2の協定項目の内容（案）につきましては、記載しております(1)から(4)まで4項目を考えておりますが、協定を締結するチーム等の活動内容も踏まえ、新たな項目を加えるなど今後検討してまいります。

最後に、3の連携協定の候補先企業についてでございます。

まず、市内を活動拠点としておられ、既に活発な地域貢献活動を行っておられるダイソー女子駅伝部や硬式野球の伯和ビクトリーズの地元企業のチームも候補先として考えております。

また、今後中・長期の計画といたしまして、県内まで範囲を拡大し、スポーツ王国広島の実現と地域の活性化、スポーツを通じた社会貢献に寄与することを目的として設立された団体であるトップス広島の組織に加盟しておられるプロスポーツ団体、実業団チーム合わせて11団体を候補先として考えております。

なお、今後の進め方につきましては、皆様のご意見や今後開催いたしますスポーツ推進審議会等のご意見を踏まえ、連携協定の内容を決定し、候補先と協議を行ってまいります予定としております。

報告第43号スポーツ活動による連携協定の締結についての説明は以上でございます。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 渡部教育長職務代理者：ご説明ありがとうございました。

ご説明の候補先の件についてですが、現在は直接働きかけといたしますか、どこまで進んでいるのでしょうか。

○ 尾谷スポーツ振興課課長補佐兼生涯スポーツ係長：今後、内容等が決定いたしましたら、これから個別に調整に入ってまいります。

○ 渡部教育長職務代理者：分かりました。ありがとうございました。

○ 市場教育長：そのほかよろしいですか。

報告第44号 スポーツ施設の聖地化に伴う体力測定機器の活用について

○ 市場教育長：それでは次に、報告第44号スポーツ施設の聖地化に伴う体力測定機器の活用について、説明をお願いいたします。

○ 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：報告第44号スポーツ施設の聖地化に伴う体力測定機器の活用について、ご報告いたします。

報告事項の2ページをお願いいたします。

1、設置の経緯でございます。

黒瀬B&G海洋センターには体育館、屋内プール、トレーニングルームなどがあり、トレーニング機器を設置しております。また、近接する龍王山総合公園にはウォーキングコースが設定されており、市民が日々スポーツを行っております。当該

センターは、市民のスポーツ活動の拠点施設であり、継続的な健康づくりに資するため、新たに体力測定器を設置し、身体の測定をすることにより、日々の運動の成果を見える化することを目的としております。

2、令和5年度の計画でございます。

まず、黒瀬屋内プールに機器を設置し、東広島市教育文化振興事業団が定期的に行っている各種スポーツ教室で測定を行う予定としております。

次に、黒瀬地域において、健康・福祉との交流のまちの実現を目指し、活動している黒瀬みらい会議と連携し、第31回黒瀬町健康福祉まつりにおいて、体力測定会を実施します。また、プールやトレーニング機器などを利用されている市民で測定を希望される方には、職員が対応して測定を行う予定です。

3、導入スケジュールでございます。

機種は、インボディ470です。この測定器は、部位別筋肉量や体脂肪量測定などができる機器で、9月の初旬に導入する予定です。

4、令和6年度以降の活用についてでございます。

測定後の個人へのフィードバックをどのように行うか、機器の導入による効果検証についてなど、課題として考えております。

報告第44号の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 京極委員：ありがとうございました。

下のところにも書いてあるのですが、測定しただけでは多分意味がないので、どういうふうに関わってくるかっていうふうに、体制とかはどうなってきたのでしょうか。

○ 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：測定して、どのようにフィードバックして、個人の方の体力測定の結果が日々見える化できて、運動することによりこれだけの増加や、体脂肪の減小など、見える化することにより、努力してきたスポーツがより楽しくなるような結果が出ていけばいいとは思っています。その部分につきましては、今検討しているところでございまして、課題として上げております。何か皆様方のほうでこういった方法があるとか、いろんな意見がいただければ参考にさせていただければとは思っております。

○ 京極委員：ありがとうございました。

多分、個人のカルテみたいなもの、年々変化はやっぱり見ていかないと、何かそういうプログラムとか何かあるのですかね。そういうのを利用しないと、多分これ測定しただけでは意味がないと思います。ご検討いただいたらと思います。

○ 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：ありがとうございました。

○ 渡部教育長職務代理者：ありがとうございました。

今、ご質問があったように、測定するという事は、簡単ではありませんが、たくさんの方の測定データのフィードバックは、大変大事な事だと思います。参考

になることと言えば、私の知る限りでは、県立総合体育館で体力測定専門のスタッフがいて、そして測定したデータは全部コンピューターに入るようになっていきます。そのデータはその場でフィードバックできるようになっています。そういうプログラムができていないと、現場は大変苦勞するだろうと思います。そういうところをしっかりと予算化されておいたほうがいいのではないかと思います。

それからもう一つです。ここの黒瀬の施設活用は、大変いいことだと思うのですが、全市的に考えますと、例えば黒瀬に行って測定するということに、豊栄とか河内とかの人たちはちょっと距離がありますね。本市として将来市民の健康、体力づくりを目標として測定する。また、先ほどご説明ありましたように、若い子供たちをトップアスリートに養成するような形での体力測定があります。一般市民と、競技者対象とは、区別しなきゃいけないと思うのです。いずれにしましても、後々のことを考えますと、そういうプログラム化の準備が必要だと思います。

それから、全市的にどのように利用できるかをぜひお考えいただきたいと思います。ありがとうございました。

- 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：ありがとうございました。

今、貴重なご意見をいただきましたので、やはりフィードバックと全市的なところのような形で健康づくりや体力づくりなどに、生かしていけるように、今後いろいろと検討していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

- 渡部教育長職務代理者：ありがとうございました。よろしくお願ひいたします。

- 棚橋委員：今、2人の方からご指摘あったとおり、私もこのデータの管理というものは市がやることなのか、それとも単に数値を、いわゆる機械を示すだけで、利用した個人が自分で管理するののかというのは大きな違いが出てくると思います。その辺からまず詰めておく必要があると思うのです。

それと、最後の機器の導入、効果検証というのは、高価な機器を据えたことによって市民の体力が上がったのかどうかっていうことを意味していると思うのですけれども、これ何の効果を検証するんですか。機器を導入したこと、予算をかけて導入したことの効果なのか、それともこれはあくまで測定のための機器ですから、これが入ったことによって個人あるいは団体の日々の運動とか、それとその成果を見ていくために数値を得るためなのか、これを入れると、各市民のモチベーションが上がって個人の管理ではあるのですが、毎月だんだん上がっていったという、その楽しみのために市民のモチベーションが上がるから効果があるんだっていう、何の効果を求めているのかというのはどうですか。

- 市場教育長：市民の健康か、または導入の効果、どちらかということですが。

- 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：ありがとうございます。

今から、その辺も考えていけないといけないのですが、一番に導入のきっかけとなりましたのは、やはり日々運動の効果を数値化することによって、日々の運動の数値を確認することによって運動の成果が見えるようになり、市民の方が運動をするやる気が出ることに繋がっていくと思ひ、このような機器を設置したいと考へ、

検討したものでございます。

- 市場教育長：市民の健康保持、増進のところを効果としてみていきたいということが第一だということですね。
- 渡部教育長職務代理者：先ほどのご説明で、導入するインボディですね。インボディの機器を導入して、測るよという話ですから、インボディそのものはすぐ結果が出るので、それはそれでもう完結しているのです。ただ、先ほどの前にありました、ジュニアの子供たちなりを競技力向上という目的で測定する場合と、一般の方々が健康づくりのため、あるいはフレイル予防のために運動することは、一応分けて考える必要があると思います。いずれにしても、測定データに対して、あなたはこのような運動をしたほうがいいですよとか、選手であれば、こういう体力が足りないから、こういう項目をこのくらいやったらいいですよというアドバイスする必要があるのです。県立総合体育館には、スポーツ科学アドバイザーというポジションがあります。そのスポーツ科学アドバイザーの方々は、選手を対象にやっております。一番大事なのはその個人に合った運動プログラムを紹介してあげることです。

それから、一般の方々にとっては、最近ウォーキングを始めましたとか、そういう運動に参加する方がいらっしゃるわけです。そういう方に対して、健康のためには、こういうふうにしたほうがいいのかのアドバイスをするシステムを早めに行えるようにぜひ考えていただければ、県内でも大変ユニークな事例になるだろうと思います。

- 市場教育長：よろしいでしょうか。
- 久保田スポーツ振興課課長補佐兼スポーツ施設係長：ありがとうございます。
- 市場教育長：ほかにありませんか。

その他ア 東広島学校給食センター施設開放イベント

その他イ インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023

その他ウ 次回教育委員会定例会の日程について

- 市場教育長：それでは、その他に移りたいと思います。

このたびは個別の案件についての説明は省略させていただきますけども、特に伝えたいことが事務局からありますか。ありませんね。

続きまして、次回教育委員会定例会の日程について説明をお願いいたします。
- 武上学校教育部長兼教育総務課長：次回、8月は24日木曜日15時から北館会議室201、9月につきましては28日木曜日16時からでお願いしたいと思います。
- 市場教育長：ありがとうございました。

それでは、次回は8月24日木曜日15時から北館会議室の201で決定いたします。

次々回、9月は9月28日木曜日16時からをご提案いたしました。委員の皆様方のご都合はいかがでしょうか。

それでは、よろしくをお願いいたします。

その他、事務局からありますか。

その他、委員の皆様からございますか。

それでは、議案第16号に移る前に教育総務課、指導課以外の職員は退席してください。

暫時休憩いたします。

閉会 午後2時35分